PressRelease

2026年8月25日
株式会社Arent

プラント設計・施工を繋ぐ新シリーズ「ASPO」正式版を提供開始
β版のフィードバックを反映し機能を拡充。設計から施工までのデータ連携で、配管サポート材製作図の作図工数を最大83%削減※当社調べ

建設業界のDX推進に取り組む株式会社Arent（本社：東京都港区、代表取締役社長：鴨林 広軌、以下Arent）は、プラント設計・施工領域の業務変革を支援するアドインシリーズ「ASPO」の正式版を、提供開始しましたのでお知らせいたします。

本シリーズは、配管サポート材製作図自動生成ツール「ASPO Support Fab」およびスプール図生成ツール「ASPO Spool Manager」（特許出願中）で構成されます。2026年4月末より一部トライアル企業限定でβ版（Rev. 0A）を提供してまいりましたが、先行ユーザーからのフィードバックを反映し、機能を拡充・改善した正式版として提供を開始いたします。

■ β版からの主な進化点

＜ASPO Support Fab＞

- 鋼材サポートを追加し、対応サポートタイプを拡充
- ラック鋼材を図面に含めることが可能に
- サポートのグループ化機能を改善
- AutoCAD Plant 3D の標準サポートについても寸法値の出力に対応

＜ASPO Spool Manager＞

- 溶接マーカーの表現を改善
- エラーチェックのファイル出力に対応
- 各種機能の安定性を向上
- Autodesk Forma への溶接情報の出力に対応

■ 背景：Arentが持つ「業界知見」と「高度な開発力」の融合

Arentはこれまで、プラント配管の自動設計を実現するAI搭載3D CAD「PlantStream®」などを通じて、プラント業界のデジタル化支援に取り組んでまいりました。また、Autodesk Revit®向けのアドイン「LightningBIM」シリーズの開発・提供に加え、2025年3月にはオートデスク社とソリューションプロバイダー契約を締結しております。

プラント業界の実務知識とオートデスク製品の高度なアドイン開発経験を融合させ、これまで技術的な分断点となっていたAutodesk AutoCAD Plant 3D における設計から施工へのデータ連携を効率化する製品ラインナップとして「ASPO」シリーズを展開しています。

■ プロダクトの目的：設計・施工間に存在する「データの分断」を解消

プラント建設では、詳細設計（アイソメ出力）まではデジタル化が進んでいる一方、その後の施工準備段階では汎用CADやExcel等への手入力作業が多く残っており、情報のサイロ化が課題となっています。ASPOは、この分断を解消し、SSOT（Single Source of Truth：信頼できる唯一の情報源）の構築を支援することを目指しています。

■ 「ASPO」シリーズ：2つのラインナップ

※本製品の利用には、Autodesk AutoCAD Plant 3D の利用環境が必要です。

1. ASPO Support Fab（配管サポート材製作図の自動生成）

Autodesk AutoCAD Plant 3D 上のモデル情報から、製作用図面を自動作成します。

- **工数削減の寄与**: 従来手法で1枚あたり約30分を要していた作図作業を約5分へと短縮（約83%削減※）することが可能です。※当社調べ
- **コストメリット**: 中小規模プロジェクト（1,000枚規模）において、**約125万円のコスト削減**※を見込みます。※当社調べ

- **品質の安定**: ヒューマンエラーの抑制に寄与し、設計変更時もモデルと同期することで手戻りの最小化を図ります。

  ▼デモ動画：ASPO Support Fab 機能紹介
  https://youtu.be/MHSRI3RSpms

2. ASPO Spool Manager（スプール図生成支援／ 特許出願中）

事前定義されたルールに基づいた半自動スプール分割や、手動での編集にも対応し、3D モデルからスプール図面生成までをスムーズに連携します。

- **分割案の提示：**事前定義されたルールに基づき、スプール分割を半自動化します。
- **自動採番と自動連動：**スプール番号・溶接番号を自動で付与。ショップ（工場製作）/フィールド（現場施工）の振り分けも自動化し、割り当てを変更すると関連する番号も自動的に更新されます。
- **可視化と整合性チェック：**溶接箇所を溶接マーカーで可視化し、溶接マーク・BOMの自動記入やデータ整合性チェックにより、手作業に伴う漏れ・ミスを抑制します。
- **現場までのデータ連携：**ASPOで設定したショップ/フィールド区分・スプール番号・溶接番号を、そのまま Autodesk Forma Build と連携することも可能です。従来、汎用CADやExcelでの管理が中心だった溶接の進捗（未着手／施工済み／検査合格 等）を、3Dモデルと合わせて管理することも可能になります。

  ▼デモ動画：ASPO Spool Manager 機能紹介
  https://youtu.be/ssrjnlUxNw0

■ β版ご利用企業の声

株式会社IHIプラント エンジニアリングセンター 配管・架構設計部

【ASPO Support Fab】
ASPO Support Fabでは、Plant 3Dモデルからサポート図面を迅速に作成でき、従来の三面図を利用した方法と比較して設計業務の効率化につながる可能性が確認できました。
今後は、シューやクランプ、Uボルトといった配管支持部材に加え、二次部材やそれらを支持する柱・梁・基礎などの構造部材も含めて図面化できるよう機能が拡充されることを期待しています。

【ASPO Spool Manager】
ASPO Spool Managerのベータ版を試用した結果、SHOP/FIELD区分の自動割り当てと視覚的な表示機能により、溶接箇所や溶接区分の確認作業を効率化できることが確認できました。
これにより、スプール計画や施工検討における作業負荷の軽減が期待できます。
また、スプール番号や溶接番号の自動付番機能と優れた操作レスポンスにより、大量のデータを効率的に処理できるだけでなく、必要に応じて設計者が容易に修正できる柔軟な操作性も実務に適した機能であると感じました。

関連部材情報との連携機能や、Autodesk Formaとのデータ連携機能など、今後の機能拡充にも期待しています。

■ 製品ラインナップおよび価格

※価格は1ライセンスあたり （税別）

- **ASPO Support Fab**
  月額：25,000円 ／ 年間：200,000円
  ※機能を限定した無償版もご用意しています
  問合せ先：https://lp.aspo-generator.com/support-fab.html#contact

- **ASPO Spool Manager**
  月額：190,000円 ／ 年間：1,500,000円
  問合せ先：https://lp.aspo-generator.com/spool-manager.html#contact

- **ASPO製品サイト**
  https://lp.aspo-generator.com/

■ イベントのご案内

Connected Plant 2026｜Plant 3D x Forma x AI — データでつながるプラントプロジェクトの実践

先行ユーザー事例を中心としたイベントを開催します。

- 開催日：2026年 8月 28日（金）14:00 開演
- 会　場：ベルサール御成門タワー
- 形　式：対面式
- 参加費：無料・事前登録制（定員制）
- 主　催：オートデスク株式会社
- 申込み：https://events.autodesk.com/flow/autodesk/plant2026/mainevent/page/home

■ 株式会社Arentについて

「暗黙知を民主化する」をミッションに、建設・プラント業界のDXを推進する企業です。クライアント企業と共に課題解決に取り組む「DX事業」と、自社SaaSを展開する「プロダクト事業」の二軸で事業を展開しています。BIMを直感的に扱えるRevit向けプラグイン「LightningBIM」シリーズや、千代田化工建設株式会社と共同開発した、プラント配管の自動設計を実現するAI搭載3D CAD「PlantStream」などのプロダクト提供に加え、M&Aを通じたグループ拡大を推進し、建設・プラント業界が抱える構造的課題をテクノロジーで解決しています。

【会社概要】

- **会社名**: 株式会社Arent
- **所在地**: 東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル3階

- **代表者**: 代表取締役社長 鴨林 広軌
- **設立**: 2012年7月2日
- **資本金:** 12億86百万円
- **Webサイト**: https://arent.co.jp/

＜本件に関するお問合せ＞
info@arent3d.com

以上